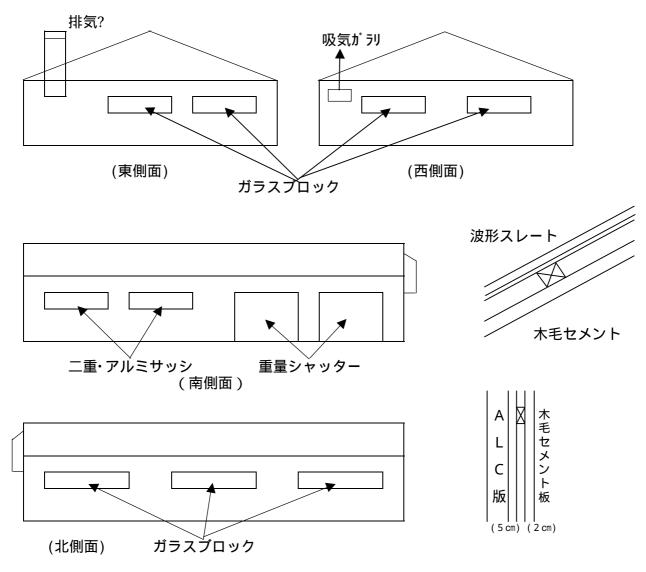
騒音防止の方法【記載例】(§33)

| | | | 工 場 | 建物 | の構 | 造 | | | 1の構造 |
|---|---|-------|-------|-------|----------|---------|----------|---------|---------|
| | | 壁(外) | 壁(内) | 屋根(外) | 屋根(内) | 窓 | 扉 | | コンクリート |
| 材 | 質 | ALC版 | 木毛 | 木毛 | 波形 | アルミサッシ | スチール | 141) 頁 | ブロック |
| | | | セメント板 | セメント板 | スレート | ガラス | シャッター | 高さ | 1 . 8 m |
| 厚 | さ | 5 c m | 2 c m | 2 c m | 0.65 c m | 0.5 c m | 0.16 c m | 厚さ | 10 c m |



(説 明)

- 1.明り採りをガラスブロックとし、防音に配慮した。 2.窓は、アルミサッシニ重とした。 3.排気ダクトの内側に吸音材を取り付けた。 4.屋根は波形スレート、木毛セメント板の二重構造とした。
- 5. 工場建屋が隣りと接近している西側のへいをコンクリートブロックとする。